

39歳、無所属。子供にツケをまわさない！

県政に関するご提言から身近なご相談まで、ご意見をお寄せください！

埼玉県議会議員 すがわら文仁

発行者 菅原文仁（刷新の会戸田支部）
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
TEL/FAX 048-432-3585
HP sugawarafumihito.com
Email mail@sugawarafumihito.com



「すがわらレポート」は、定期的に発行する気軽な県政報告です。

菅原文仁プロフィール 【略歴】昭和50年7月30日生まれ（39歳） 戸田市立美谷本小学校・美笹中学校卒 埼玉県立伊奈学園総合高校卒 日本体育大学卒（教員免許取得） 明治大学大学院修了（公共政策学修士） 元社会体育会代表 【政治歴】平成17年～23年 戸田市議会議員（2期） 平成23年県議会議員に当選（1期）～現在に至る 【所属】会派「刷新の会」幹事長代理 青年地方議員の会副会長 埼玉県体操協会副会長 埼玉坂本龍馬会幹事 日本自治体危機管理学会会員 【趣味】読書 史跡巡り B級グルメ探し 【特技】バク転 のび太並みの早寝 【座右の銘】上杉鷹山翁の「なせば成る、なせば成らぬ、何事も」 【家族】父・母・妻・子2人（2歳と0歳）・犬1匹 【夢】努力した者が報われる社会を実現すること 【自宅】戸田市美女木8-21-6

年頭のご挨拶



あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと謹んでお慶びを申し上げます。また日頃から私の県政活動に対する温かいご理解とご厚情を賜り、心から感謝申し上げます。さて、2015年は私たちにとって、様々な意味で「節目」となる一年であると思います。まず、「国家のあり方」という意味では、今年が戦後70年、そして戦後政治の方向を決定付けた55年体制の確立から60年が経過します。世界秩序が揺らぎ大きく変化する昨今、私たちは改めて我が国の歴史を振り返り、自立した国家とは何かを考え、次の時代を見据えた国民的な議論をすべき時を迎えているように思います。また、「日本経済の動向」という意味では、プラザ合意から30年、平成バブル崩壊から25年、そして2020年東京五輪・パラリンピックまであと5年という節目、そして今年が日銀が目標とするデフレ脱却の期限を迎えます。

高齢化社会はネガティブな話題が多く取り上げられますが、本来、健康で長生きできる社会は人々の希望であり、幸せなことだと思います。

私は、誰もが尊厳をもって安心して人生を送れる埼玉県のために、限られた財源の中で、医療や介護を均質化、効率化しながら、適切に確保できるよう努力していきたいと思っております。

様々な「節目」を述べましたが、私自身も4月に改選をむかえることとなりました。

私は今一度、政治家としての身構え、気構え、心構えを整え、これまでの県政改革の実績と成果をお示しして、皆様の声なき「声」を反映した政策を訴え、再び県政において働かせていただきたいと固く決意しています。引き続き、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、皆様の今年一年のご健康とご多幸を心からお祈りして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

今年もどうぞよろしくお祈り申し上げます！

平成27年 元旦 菅原文仁

本人の活動写真

11月3日(月) @戸田市文化会館(戸田市内) 戸田市表彰式にて祝辞を述べました。

11月19日(水) @佐竹化学機械工業(株)(戸田市内) 戸田市の誇る世界企業を上田知事と視察！

12月17日(水) @霞ヶ関カンツリ一倶楽部(川越市) オリンピックの会場予定候補地の周辺を視察！

12月23日(火) @市役所通り(戸田市内) 自転車御用聞き！多数のご意見ご要望を頂きました。

12月定例会報告(会期:12月1日~19日)

知事提出議案としては、合計42億1,873万円を補正する「平成26年度埼玉県一般会計補正予算」をはじめ、継続審議中であった「平成25年度埼玉県一般会計及び特別会計決算」の認定についての議案など37議案が提出され、一部議案の撤回、再提出等がございましたが、すべて原案通り可決・承認・認定・同意しました。

議員提出議案としては、「安定した介護体制の確立に資する介護報酬改定を求める意見書」をはじめ、「新たな森建設についての執行停止を求める決議」などの6議案が審議され、すべてを可決しました。

会派としては、私が提案した「子ども・子育て支援新制度の財源確保を求める意見書」など3案を議会運営委員会に提出しましたが不採択となりました。議案については、知事提出、議員提出のすべての議案に賛成いたしました。

知事提出議案の主な内容

埼玉県一般会計補正予算 賛成
増額補正予算を42億1,873万円認める議案
平成26年度の一般会計予算の累計額 **1兆7,975億1,754万3千円**
補正予算の主な内容
(1) 地域における医療・介護サービス提供体制の整備
いわゆる団塊の世代が75歳以上となり高齢化が一段と進行する2025年を見据え、国と県の負担により設置する基金とその活用による在宅医療の提供や医療・介護従事者の確保
① 地域医療介護総合確保基金積立 36億5,036万9千円
② 在宅歯科医療の推進体制の整備 9,394万6千円
(2) 県庁舎等の電源喪失対策の推進
・都市ガス等による非常用発電機の整備 889万5千円
(3) 新たな森づくりの推進
昨年9月定例会において自民党県議団が提出し可決した「新たな森建設についての執行停止を求める決議」(我が会派は反対)を受け、停止していた事業について知事から再度提案されました。その後、自民党県議団から一部の事業用地に関する指摘がなされ知事が撤回し、再度知事から提案された一部の事業用地を除いた用地確保のための予算案。 6億9,091万4千円

専決処分の承認(衆議院議員選挙費用) 賛成
12月14日に行われた衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の実施に伴う、平成26年度埼玉県一般会計補正予算の専決処分(議決・決定を経なければならない事柄について首長自ら処理)の承認 25億4,798万4千円

議員提出議案の主な内容

決議・意見書 全て賛成
・安定した介護体制の確立に資する介護報酬改定を求める意見書
・中小企業の円滑な事業承継等の支援を求める意見書
・無戸籍者に対する支援体制の充実を求める意見書
・ドクターヘリの安定的な事業継続に対する支援を求める意見書
・地方税財源の充実強化を求める意見書
・新たな森建設についての執行停止を解除する決議
(会派として提出したもの)
・菅原提案 「子ども子育て支援新制度」の財源確保を求める意見書(不採択)
・菅原提案 竹島の日制定を定める意見書(不採択)
・菅原提案 火山防災対策の充実強化を求める意見書(不採択)

統計からみた埼玉県	総人口(人)	人口増減率(増)	平均年齢(歳)	婚姻率(増)	生活保護率(%)	納税率(%)	小中校耐震化率(%)	下水道普及率(%)	犯罪率(増)	人身事故発生率(増)
埼玉県	H26.12.1 7,240,300	1.90	44.1	5.2	1.20	92.8	93.1	77.9	12.93	4.90
戸田市(県内)	H26.12.1 132,735	1位 21.95	1位 39.6	2位 7.5	7位 1.54	10位 94.7	1位 100.0	14位 86.7	8位 15.87	11位 5.75

一般質問の報告④

▼県老朽化マンションの建替え支援を！

マンションは、今や我が国における重要な居住形態であり、埼玉県においても特に県南を中心に供給が進んでおります。県は、平成22年度に分譲マンション実態調査を行い、課題も認識し、老朽化した管理不全マンション適正化への支援事業に取り組むなど積極的な推進を行なっています。また今般「改正マンション建替え円滑化法」も可決され、マンション敷地売却制度が創設されるなど、耐震性不足のマンションの建替えが促進される道も広がりました。

一般的に、老朽化したマンションは入居者も高齢化し、建替えのための資金確保が困難になっており、マンションの建替資金を確保する場合は建替えにより床面積を増やすことで新たな住戸を販売し、その資金で建設資金に充てることが考えられます。

しかし、昭和45年の建築基準法の改正で容積率制限が導入されたため、増床できる床面積が制限され、規制以前に容積率制限を超えて建築されたマンション、いわゆる「既存不適格建築物」では、増床はより困難です。

埼玉県としても、老朽化したマンションをスラム化させずに着実に新陳代謝を促すための支援を積極的に進めるべきと訴え、都市整備部長に質問しました。

菅原の質問 先進的にマンション政策を進める東京都では、容積率制限がネックになって建替えが進まないマンションに対して、「共同住宅建替誘導型」の総合設計制度という独自の制度を創設して、容積率や高さの制限を緩和し建替えの促進をしています。県は、マンションの建替えの課題についてどのように認識し、把握しているのでしょうか。また今後、独自に容積率や高さの緩和を行うなど、建替えを促す取組を検討してはいかがでしょうか。



都市整備部長の答弁 県が行なったマンション実態調査では、回答を頂いた3,278管理組合のうち、12%に当たる403の組合が建替えや改修に関心を持っていることが明らかになりました。課題としては、資金の調達が45%で最も多く、次いで、建替え中の仮住居の確保、住民の合意形成を図る専門知識がないことなどが挙げられており、こうした課題への取組が重要と考えております。次に、建替えを促す取組として、お話の総合設計制度については、課題を踏まえ、建替え促進を図るための現行総合設計制度の改善点について、市町村や都市計画の専門家などの意見も聞きながら検討してまいります。



＜菅原の一言＞

例えば戸田市では、平成25年のマンション化率は民間調査で26.21パーセントであり、3.8世帯に1世帯はマンションに住んでいる状況であり、県南地域における老朽化マンション建替え問題は、今後20年で大きく顕在化してきます。特に老朽化マンションの中でも、既存不適格マンションを対象とした建替えは、困難が予想されます。

マンション管理士を活用して将来の建替え時に問題の起こりそうなマンションを支援する事や、提案した総合設計制度をより活用しやすくする取組みなどにより、これからもマンション問題に対して積極的に支援して参ります。

▼自転車通行空間の整備を！

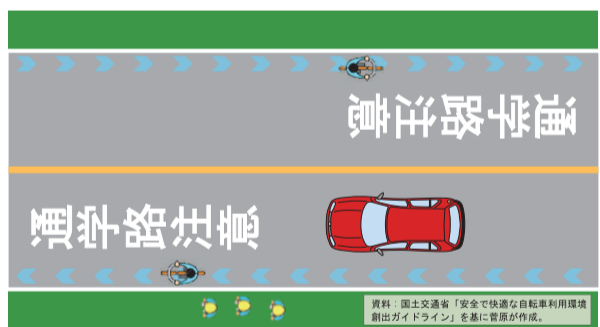
埼玉県は、平成25年中の自転車乗用中の交通事故死者数が全国ワースト2位であり、歩行者と自転車との接触事故件数が10年間で1.7倍となっております。そこで、県は自転車の関与する事故の防止や自転車のルール遵守を図るべく、自転車通行空間の整備を進めております。

市町村も含めた県全体として、自転車を明確に車両と認識し、歩行者と自転車と車の三者による道路のシェアを推進することは、歩行者はもちろん、自転車利用者も交通事故から守ることにつながります。

一方で、通学途中の児童が犠牲となる事故が後を絶たない状況の中、県は今年度から3年間で約100キロの歩道のない通学路を緑に塗るグリーンベルトを整備して、県道の安心・安全を確保する事業をスタートさせました。

この「グリーンベルト整備」と併せて、自転車走行を誘導する「自転車ナビライン」を同時に塗ることで、一石三鳥の取り組みとなることを提案し、上田知事に見解を伺いました。

菅原の質問 グリーンベルトの整備と同時に、自転車ナビラインという矢羽根のサインを車道の左側につけて、自転車の通行位置を明示してはいかがでしょうか。これにより期待できる効果は三つです。一つ目は、走行する自転車が車道に誘導され、車と児童の事故のみならず、自転車と児童の接触事故を防ぐことが期待できます。二つ目は、自転車の原則車道左側通行というルール遵守の徹底が図られ、自転車事故の7割を占める交差点における車との事故、さらには自転車同士の対面衝突事故の減少も期待できます。三つ目は、異なる効果の2つのサインを同時に整備することで高い財政効果が期待できます。正に一石二鳥、三鳥の取組になると私は考えております。知事の御所見をお伺いいたします。



▲「グリーンベルト」と「自転車ナビライン」(菅原作成資料)

知事の答弁 既に都内では、交通量の少ない生活道路や十分な幅員を有する道路において実施していると聞いております。しかし、グリーンベルトを整備する県管理道路の多くは、交通量が多く車道幅員に余裕がない状況のところが多いです。このような道路では、多くの自転車はできるだけ自動車から離れて走りたいという心理が働き、路側帯を通行しているのが現状です。自転車を車道に誘導することで自動車との接触事故が増える心配もあり、自転車走行の安全確保にも十分考慮する必要がありますのかと思います。

御提案の「自転車ナビライン」は、どちらかという交通量が少ない道路が中心になるのではないかと思います。今後は市町村が策定しています「自転車ネットワーク計画」の中で県も連携し、自転車ナビラインの活用方法について積極的に研究してまいります。



＜菅原の一言＞

「積極的に研究」という答弁は、当初の姿勢からすると前進と言えますが、市町村も含め、自転車を明確に車両と認識し、歩行者と自転車と車の三者による道路のシェアを推進する取り組みは、まだまだ遅れていると感じます。東京都は2020年に向けて世界標準の自転車インフラ整備を進めております。都に隣接する県南部では自転車がとても多く活用されておりますが、県境での「格差」とならないようにしていくことが必要です。

来年度の予算、あるいは市町村道への波及を期待しつつ、これからも自転車インフラの整備を積極的に提言して参ります。

本人の一行日記

11月(霜月)

- 1日 芦原小学校開校10周年記念式典に出席(戸田市内)
- 2日 第92回戸田市民謡民舞大会に出席(戸田市内)
- 3日 戸田市表彰式に出席(戸田市内)
- 4日 県土整備関係の調査(県議会)
- 5日 戸田ふるさと祭り実行委員会に出席(戸田市内)
- 7日 埼玉県戦没者追悼式に出席(さいたま市)
- 9日 消防協会蔵戸田支部特別点検に出席(県議会)
- 10日 榊小金井製作所に常任委員会視察(入間市)
- 11日 都道府県議会議員研究交流大会に出席(千代田区)
- 13日 川越市役所に特別委員会視察(川越市)
- 14日 会派団会議に出席(県議会)
- 15日 ぼくらのありがとコンサートinとだに出席(戸田市内)
- 16日 戸田マラソンin彩湖開会式に出席(戸田市内)
- 17日 事務所にて市議と懇談(戸田市内)
- 19日 上田知事とことん訪問同行視察(戸田市内)
- 20日 医療政策勉強会に参加(千代田区)
- 21日 上戸田イルミネーション点灯式に参加(戸田市内)
- 22日 市P連スポーツ交流大会開会式に出席(戸田市内)
- 24日 事務所にて市民相談(戸田市内)
- 25日 戸田市議会議を訪問(戸田市内)
- 26日 保健医療関係事業の調査(県議会)
- 27日 市内訪問と市民相談(戸田市内)
- 28日 事務所にて事務作業(戸田市内)
- 29日 戸田収穫祭に参加(戸田市内)

12月(師走)

- 1日 県議会本会議12月定例会開会(県議会)
- 2日 提出議案説明会に出席(県議会)
- 3日 産業労働関係事業の調査(県議会)
- 4日 総務関係事業の調査(県議会)
- 5日 青年会議所卒業式に出席(戸田市内)
- 6日 第三回親守詩埼玉大会に出席(県議会)
- 7日 埼玉県体協協理理事会に出席(上尾市)
- 8日 県議会本会議一般質問(県議会)
- 9日 県議会本会議一般質問(県議会)
- 10日 県議会本会議一般質問(県議会)
- 11日 県議会本会議一般質問(県議会)
- 12日 障害者就労支援施設に視察(戸田市内)
- 13日 日本協働政策学会に出席(千代田区)
- 15日 産業労働企業委員会に出席(県議会)
- 16日 TMGキャンドルサービスに出席(戸田市内)
- 17日 地方分権・行財政改革特別委員会に出席(県議会)
- 18日 西東京市議会議員選挙の応援(西東京市)
- 19日 県議会本会議12月定例会閉会(県議会)
- 20日 地域訪問と市民相談(戸田市内)
- 21日 市内スポーツ団体クリスマス会に出席(戸田市内)
- 22日 地域訪問と市民相談(戸田市内)
- 23日 本人自転車御用聞き活動(戸田市内)
- 24日 議会レポート作成(戸田市内)
- 25日 警察行政関係の調査(県議会)
- 26日 地域訪問と市民相談(戸田市内)
- 27日 上田知事勉強会に出席(さいたま市)
- 28日 議会レポート作成(戸田市内)
- 29日 市内スポーツ団体忘年会に出席(戸田市内)
- 30日 議会レポート作成(戸田市内)
- 31日 美女木八幡神社年越し挨拶(戸田市内)

編集後記

テレビで特集され、行政が様々な手を尽くしても被害があとを絶たない振り込め詐欺。埼玉県でも被害額が毎年過去最悪を更新して、とても深刻な状況です。県警でも対策を強化し、未然防止や犯人の検挙に努力しておりますが、平成26年は11月末現在で認知件数は1,034件、被害総額は28億5千万円で昨年の1.5倍。蔵警察署管内でも平成26年11月末現在で認知件数32件、被害総額約1億1千万円という厳しい現状です。

何より許せないのは、「子を思う親の気持ちにつけ込む」卑劣さと悪質さです。これは高齢者の問題ではありません。私たち現役世代こそが「親を思う気持ち」と家族の絆で、家庭ごとに防衛策を講じていくことが必要になっているのではないかと思います。許すまじ、振り込め詐欺！

まじめな政治活動のためのカンパのお願い

しがらみのない無所属で活動続ける菅原文仁の政治姿勢にご理解を頂ける個人の皆様からのカンパを募集しております。賜りましたカンパは真面目な政治活動のために大切に活用させていただきます。カンパをお寄せくださいました際は、お手数ですが①お名前、②ご住所、③電話番号、④金額を、当事務所までご一報ください。(外国の方からの寄付は受けられません。)

振込口座：ゆうちょ銀行 口座番号：00180-1-782048 (他の金融機関からの振込) 店番019 店名〇一九店 口座番号：0782048 「すがわら文仁サポーターズ」